

全国畜産縦断いきいきネットワーク

令和元年度総会資料



■目次

I. 第1号議案1. 平成30年度活動報告・・・・・・・・・22. 平成30年度収支決算報告・・・・・・・7	
Ⅱ. 第 2 号議案1. 令和元年度活動計画(案)・・・・・・・・92. 令和元年度収支予算(案)・・・・・・・1 2	2
Ⅲ. 第 3 号議案1. 令和元年度理事の改選(案)・・・・・・・・1 4<参考>平成 30 年度理事・・・・・・・・・・・・・1 5<参考>会員名簿(県名・氏名・畜種)・・・・・・・・1	5

【議案】

<承認事項>

- Ⅰ. 第1号議案 平成30年度活動報告及び収支決算報告
- Ⅱ. 第2号議案 令和元年度活動計画(案)及び収支予算(案)
- Ⅲ. 第3号議案 令和元年度理事の改選

上記の3議案について、別紙のとおり承認を求める。

全国畜産縦断いきいきネットワーク 会 長 小 林 陽 子

Ⅰ. 第1号議案 平成30年度活動報告及び収支決算報告

1. 平成 30 年度活動報告

平成30年度の活動は、昨年度に引き続き「大会の開催」「情報発信・情報交換」「若手後継者の育成」「行政等との意見交換」の活動を柱として行った。

今年度は書面での総会を実施した。

また、平成30年度から中央畜産会が実施する「畜産女性経営者育成強化事業」と連携し、 畜産女性の経営参画を効果的に推進するための対応策を検討する委員会や畜産女性経営者 の育成を図るための研修会へ協力するなど、他団体との連携強化を図った。

大きな行事としては、大会を8月に東京都内で開催し、若手後継者育成研修会は11月に 福岡県下にて開催した。

また、国際養鶏養豚総合展 2018 (IPPS) においてブースを出展し、会員の拡大及び消費者との交流を図った。

今後も、理事を中心に広く会員の意見をくみあげ、積極的な活動への参加を図り、組織の弱体化を防ぎ、活性化に努めていく。会員の方にも、各活動の企画・具体化等についての積極的な参加と、企画案や「こんなことをやりたい」等の要望を随時募集、理事や事務局で対応していく。

1) 総会

議決事項を決議するため年度内に1回開催し、今年度は書面により実施した。

【決議事項】

- 第1号議案:平成29年度活動報告及び収支決算報告
- ・第2号議案:平成30年度活動計画(案)及び収支予算(案)
- ・第3号議案:平成30年度理事選任

2) 理事会

本ネットワークの活動計画や運営方針等を協議するため、本年度は理事 20 名(うち会長1名、副会長2名、会計監事2名)体制で理事会を下記の日程で年度内に3回開催した。

第1回·平成30年5月15日

第2回・平成30年10月23日

第3回・平成31年2月15日

3) 会員拡大と会員サービスの充実

(1)会員数の拡大

組織の強化に向け、会員数の拡大に努めるとともにネットワーク活動を支援する協賛会員の拡大を図った。

<会員状況(会員数・入会・退会)>(平成31年3月31日現在)

年度	期首会員数 (4月1日)	入会員数	退会員数	期末会員数 (3月31日)
平成 29 年度	105 名	5名	8名	102名
平成 30 年度	102名	0名	2名	100名

<協賛会員>39 社・団体

(継続会員) 35 社·団体

株式会社中嶋製作所/公益社団法人全国農業共済協会(農業共済新聞)

富士平工業株式会社/一般社団法人家畜改良事業団

公益社団法人日本食肉格付協会/合同会社イーラップ

株式会社十勝家畜人工授精所/明治飼糧株式会社

北海道全日本畜産経営者協会/独立行政法人農畜産業振興機構

一般社団法人日本ホルスタイン登録協会/全国食肉事業協同組合連合会

全国肉牛事業協同組合/サージミヤワキ株式会社

ヨシダエルシス株式会社/株式会社岡田製作所

中国物産株式会社/全農畜産サービス株式会社

オリオン機械株式会社/一般社団法人日本養豚協会

東西産業貿易株式会社/株式会社大建情報システム

一般財団法人畜産環境整備機構/有限会社ハーレー牧場

有限会社那須高原今牧場/ひふみ養蜂園株式会社

協同組合日本飼料工業会/一般社団法人日本草地畜産種子協会

全国畜産農業協同組合連合会/株式会社農林放送事業団

株式会社ハイテム/株式会社 LifeLab/一般社団法人日本養鶏協会

公益社団法人日本乳業技術協会/株式会社コーンズ・エージー

(新規会員) 4 社・団体

埼玉県武州和牛組合/日本養豚事業協同組合 株式会社肉牛新報社/全国農業協同組合連合会

(退会員) 0社・団体

(2) 会員サービスの拡充

- ・「畜産手帳」(中央畜産会発行)へ会の名入れサービスを実施。
- ・協賛会員には会員情報の提供のほか、大会資料への広告や社名・団体名の掲載、大会での PR の場を提供した。

(3) ロゴマークの活用

シンボルマークとして、オリジナル名刺や、会員誌「いきいき通信」、その他印刷物やイベント等で、積極的に活用し、ネットワークの PR に努めた。

4) 大会の開催

組織の強化および畜産の現状、最新情報の共有を目的に年1回大会を実施。今年度は、「チャレンジの先にチャンスあり!~目指そう良才賢簿(りょうさいけんぼ)~」をテーマに下記の通り開催した。

また、理事の中から大会実行委員を5名選任し、大会実行委員会を平成30年7月2日に 実施した。

- ◇開催日:平成30年8月27日(月)
- ◇開催場所:浅草ビューホテル 飛翔 I (東京都台東区西浅草 3-17-1)
- ◇参加人数:会員ほか118名
- ◇開催内容
- ・寸劇「妹カラス(カラ子)の旅立ち」
- ・講演「畜産女性の活躍を巡る課題と対応ーチャレンジの先に見えるものー」 講師:日本大学生物資源科学部食品ビジネス学科 齋藤武至専任講師
- ・ 畜種別グループによる意見交換(分科会)

テーマ: ~チャレンジとチャンス~経営の中でチャレンジしていることや生かした チャンス、仕事に対する信念を皆で語り合いましょう。

- ・全員1分間スピーチ
- 大会宣言
- ◇大会実行委員(敬称略)

小林 陽子 金谷 恭子 柴田 誠子 月井千枝子 嶋田 文代

5)情報発信、会員間の意見・情報交換

「会員間の意見・情報交換」、「最新情報の収集」を行い、情報提供活動に努めた。特に情報発信は、会員が関わった活動の報告や、各地で立ち上がっている地域ネットワーク活動等について、紹介も含め情報提供した。

(1) 会員誌の発行

今年度は「いきいき通信」を2回発行した。

第27号・平成30年7月

第28号・平成31年1月

(2) ホームページによる情報発信

平成30年度行事についての案内・報告等、インターネットを活用した情報発信を行った。 引き続き最新の情報提供に行い、組織への参加意識を高めるようなホームページ作りに 努める。

◇掲載内容

- · 平成 30 年度大会結果報告
- ・平成30年度大会宣言
- 平成 30 年度理事名簿
- ・いきいき通信第27号、28号及び事務局通信70号、71号、72号、73号
- ・「畜産映像情報 がんばる!畜産!」にて国際養鶏養豚総合展 2018 (IPPS) 出展の様子 を配信。

(3)『畜産コンサルタント』誌における専門コーナーの活用

中央畜産会が発行する『畜産コンサルタント』誌において、「女性の視点」コーナーへ会員の記事を掲載した。

(4) 事務局通信の発行

事務局からの報告や緊急性を要する連絡事項等について、随時 FAX 等により周知を図った。

事務局通信 70 号・平成 30 年 4 月 27 日

事務局通信 71 号・平成 30 年 5 月 16 日

事務局通信 72 号·平成 30 年 9 月 4 日

事務局通信 73 号・平成 30 年 10 月 24 日

事務局通信 74 号・平成 31 年 2 月 18 日

事務局通信 75 号·平成 31 年 3 月 18 日

6) 消費者等との交流、研修会等の開催

(1)消費者等との交流

国際養鶏養豚総合展 2018 (IPPS) においてブースを出展し、消費者との交流を図った。

(2) 研修会等への参加

農林水産省経営局と連携し、大会のPRタイムにおいて経営局より「働き方改革セミナー」、「女性が働きやすい職場づくりセミナー」の開催について案内した。

中央畜産会が実施する新規就農者や後継者を対象とした就農定着のための交流会への参加を募った。

7) 若手後継者の育成

(1) 若手後継者同士、親世代との交流

若手後継者育成研修会を福岡県下にて開催した。

- ◇開催日:平成 30 年 11 月 21 日 (水) ~11 月 22 日 (木) 1 泊 2 日
- ◇開催地:福岡県下(筑紫野市·飯塚市)
- ◇参加人数:会員ほか34名
- ◇開催内容
- ・合同会社三宅牧場まきば:経営の取り組みに関する講演、牧場・販売所の見学
- ・福岡県農林業総合試験場:最新の研究成果に関する講演、牛舎・実験室の見学
- 有限会社畠中育雛場:販売所の見学

(2) 若手会員のための活動の実施

Facebook や事務局通信等を利用し、農林水産省経営局就農・女性課女性活躍推進室の発信する情報等をシェアし、会員に周知した。

8) 行政等との意見交換

今年度は、大会で実施した畜種別グループによる分科会において、チャレンジしている こと、経営に生かしたチャンスをテーマに行政担当官を交えて意見交換を実施した。

9) 他団体との組織強化と異業種生産者との交流

中央畜産会が実施する「畜産女性経営者育成強化事業」に小林陽子理事、畠中五恵子理事、前田佳代子さんが委員を務め、会員の声を代弁するなど、団体とのパイプ役を務めた。

また、6月1日に埼玉県の「畜産女性いきいきネットワーク埼玉」通常総会、7月5日に福島県の「うつくしま福島畜産 mother's クラブ e-EN」創立 10 周年記念総会に事務局が出席し、他団体との交流を深めた。

2. 平成 30 年度収支決算報告

平成30年度収支決算

収入の部

(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

事業区分	予算額	決算額	差異	備考
1 会員会費収入	1,552,000	1,494,000	58,000	・平成30年度分の会費 92名×6,000円=552,000円 ・平成29年度年度分の会費未収分 17名×6,000円=102,000円 ・平成28年度分の会費未収分 10名×6,000円=60,000円 ・協賛会員 39団体×20,000円=780,000円
2 大会参加収入	240,000	268,000	△ 28,000	·参加費 67名×4,000円=268,000円
3 研修会等参加収入	0	0	0	
4 広告料収入	210,000	170,000	40,000	・広告掲載費 17口×10,000円=170,000円
5 寄付金収入	1,000	0	1,000	
6 特別事業収入	1,000	0	1,000	П
7 雑収入	1,000	15	985	•預金利子
当期収入合計	2,005,000	1,932,015	72,985	(A)
前期繰越収支差額	1,435,675	1,435,675	0	
収入合計	3,440,675	3,367,690	72,985	(B)

支出の部

事業区分	予算額	決算額	差異	備考
1 理事会開催費	478,824	408,727	70,097	【開催日】 第1回:5月15日、第2回:10月23日、第3回:2月15日 ·旅費·交通費(1/2旅費補助) 第1回(13名)136,655円、第2回(11名)124,930円、 第3回(10名)121,590円 ·茶菓代: 第1回(16名):1,204円、第2回(11名):924円、 第3回(13名):1,176円 •振込手数料:第1回、2回、3回:22,248円
2 大会開催費	589,740	569,438	20,302	(1) 大会実行委員会開催費:72,192円【7月2日開催】 ・旅費・交通費(全額旅費補助)68,880円 ・振込手数料(旅費):2,808円 ・茶菓代(6名):504円 (2) 大会開催費:497,246円【8月27日開催】 ・会場借料等:359,510円 ・大会資料印刷費:109,134円 ・講師旅費(1名):2,400円 ・講師謝金(1名):10,000円 ・懇親会費自己負担(講師等):14,150円 ・振込手数料 (会場借料、大会資料印刷費、 講師旅費・謝金):2,052円
3 意見交換会開催費	6,500	0	6,500	
4 研修会等開催費	100,000	164,684	△ 64,684	若手後継者育成研修会(11月21日~11月22日) ・バス借上料:149,350円 ・保険料:8,908円 ・手土産代:5,562円 ・振込手数料(バス借上料、保険料):864円
5 情報提供・収集費	162,000	109,944	52,056	・いきいき通信 第27号(200部):48,816円、第28号(220部):59,400 円 ・振込手数料(いきいき通信第27号、第28号):1.728円
6 渉外費	13,000	0	13,000	
7 賃金	96,000	0	96,000	
8 事務諸費	213,000	271,406	△ 58,406	 ・旅費交通費:500円 ・通信連搬費 (大会資料、いさいき通信、事務局通信発送料等):194,332円 ・消耗品費:2,698円 ・印刷製本費:13,286円 ・賃借料(PCリース代):59,324円 ・支払手数料:864円 ・雑費(振替振込用紙印字サービス料):402円
9 会費及び賛助金	0	0	0	
10 雑費	10,000	324	9,676	·残高証明(1通)
11 予備費	20,000	0	20,000	
当期支出合計	1,689,064	1,524,523	164,541	(C)
当期収支差額	315,936	407,492	△ 91,556	(A) – (C)
次期繰越収支差額	1,751,611	1,843,167	△ 91,556	(B) – (C)

諸帳簿、証拠書類等を監査し、適正に処理されましたことを報告します。

令和元年5月13日

会計監事 嶋田 文代

木目澤 久實

Ⅱ. 第2号議案 令和元年度活動計画(案)及び収支予算(案)

1. 令和元年度活動計画(案)

令和元年度の活動については、昨年度に引き続き「情報発信・情報交換」「研修会等の開催、消費者等との交流」「若手後継者の育成」「行政等との意見交換」の活動を柱として行うこととする。

今年度は大会や若手後継者育成研修、行政との意見交換会などのイベントを実施するとともに、「いきいき通信」やホームページ等を効果的に活用し、会員の意見のくみあげや情報提供を図り、組織の活性化に努める。

1)書面総会の開催

総会は、議決事項を決議するため年度内に1回開催し、今年度は書面での開催とする。

2) 理事会の開催

本ネットワークの活動計画や運営方針等を協議するため、会員の中から理事を選任し、 年度内に理事会を3回開催する。

3) 会員拡大と会員サービスの拡充

(1) 会員・協賛会員の拡大

組織強化に向け、会員の拡大に努めるとともに、ネットワーク活動を支援する『協賛会員』の拡大を図る。

(2) 会員サービスの拡充

- ◆オリジナル名刺の作成について、継続、実施する。(会員の各地域での活動の場で、ネットワークの PR)
- ◆会員が求める資料について調査し、資料提供に努める。関係資料の提供サービスは、 地域での活動等で活用して頂くため、どんな資料を提供してほしいのかを随時調査し て、ニーズに応えるような提供に努める。

(3) ロゴマークの活用

シンボルマークとして、オリジナル名刺や、会員誌「いきいき通信」、その他印刷物やイベント等で、積極的に活用することとし、ネットワークの PR に努める。

4) 大会の開催

組織の強化及び、畜産の現状、最新情報の共有を目的に大会を開催する。なお、平成31年度は中央畜産会が実施する「畜産女性経営者育成強化事業」に係る全国シンポジウムと同日に開催する。

- (1) 開催日時:令和元年8月22日(木)13:00~17:30
- (2) 開催会場:TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター
- (3) 畜産女性経営者育成強化事業の概要

畜産女性経営者の育成及び女性の能力発揮に向けた関係者の意識改革とサポート体制の強化を行い、経営の中核的役割への女性参画の拡大と女性の地位向上を図る。

5) 情報発信、会員間の意見・情報交換

今年度も引き続き「情報発信、会員間の意見・情報交換」と「最新情報の収集」を行い、 情報提供活動に努める。特に情報発信については、会員誌における執筆依頼はもちろん、 各地で立ち上がっている地域ネットワーク活動等について、「こんなことをやっています」 など、紹介も含めた情報提供等にご協力をお願いする。

(1) 会員誌の発行

より多くの会員の執筆により、定期的に発行する。特にあまり活動等に参加できない会員の方を一人でも多く紹介する「会員紹介のコーナー」の充実に努める。

(2) ホームページによる情報発信

定期的な掲載内容の更新を心がけ、インターネットを活用した情報発信と最新情報の収集を積極的に行う。特に組織への参加意識を高めるようなホームページ作りに努める。

(3)『畜産コンサルタント』誌における専門コーナーの活用

引き続き、専門コーナーを活用した情報提供を行う。特に地域のネットワーク活動の報告等について、情報提供の充実に努める。

(4) 事務局通信の発行

今後も事務局からの報告や緊急性を要する連絡事項等について、随時 FAX 等により周知を図る。

また、電子メールを利用できる会員には、電子メールでの送付に努める。

6) 消費者等との交流、研修会等への参加

(1)消費者等との交流

各関係団体や地域のホームページ等より情報収集を行い、会員への情報提供を行うとともに、イベントへの積極的な参加を促すこととする。

(2) 研修会等への参加

他団体や本ネットワークの事務局を置く中央畜産会等が開催する、経営・生産・流通に関する研修会等の情報を収集し、会員の積極的な参加を図る。

7) 若手後継者の育成

(1) 若手後継者同士、親世代との交流

今後の畜産を担う若手後継者同士の交流を図るため、研修会を開催する。今年度は会員からの意見をもとに、愛媛県下にて実施予定。

(2) 若手会員のための活動の実施

若手会員間の意見交換の場として、ソーシャルネットワークシステム(Facebook 等)の活用を図るとともに、よりアクセスしやすい情報交換の手段・方法等を模索する。

8) 行政との意見交換

- (1) 開催日時:令和元年8月23日(水)10:00~12:00
- (2) 開催会場:農林水産省内会議室(予定)

テーマを会員から募集し、農林水産省との意見交換会を開催する。

9) 中央畜産会との組織強化と異業種生産者との交流

令和元年度畜産女性経営者育成強化事業に協力するほか、他団体との交流活動を積極的に実施する。

2. 令和元年度収支予算(案)

収入の部

(平成31年4月1日~平成32年3月31日)

収入の部				(平成31年4月1日~平成32年3月31日 <i>)</i>
事業区分	予算額	前年度予算額	差異	備考
1 会員会費収入	1,446,000	1,552,000	△ 106,000	 ・平成31年度分の会費 94名×6,000円=564,000円 ・平成30年度分の会費未収分 8名×6,000円=48,000円 ・平成29年度分の会費未収分 4名×6,000円=24,000円 ・新規加入会員 5名×6,000円=30,000円 ・協賛会員 39団体×20,000円=780,000円
2 大会参加収入	240,000	240,000	0	・参加費 60名×4,000円=240,000円
3 研修会等参加収入	0	0	0	
4 広告料収入	210,000	210,000	0	・広告掲載費 21ロ×10,000円=210,000円
5 寄付金収入	1,000	1,000	0	
6 特別事業収入	1,000	1,000	0	
7 雑収入	1,000	1,000	0	・預金利子:1,000円
当期収入合計	1,899,000	2,005,000	△ 106,000	(A)
前期繰越収支差額	1,843,167	1,435,675	407,492	
収入合計	3,742,167	3,440,675	301,492	(B)

支出の部

事業区分	予算額	前年度予算額	差異	備考
1 理事会開催費	472,680	478,824	△ 6,144	・旅費・交通費(1/2旅費補助) 140,000円×3回=420,000円 ・振込手数料:648円×20名×3回=38,880円 ・茶菓代:200円×23名×3回=13,800円
2 大会開催費	588,792	589,740	△ 948	(1) 大会実行委員会開催費:83,792円 ・旅費・交通費(全額旅費補助) 80,000円×1回=80,000円 ・振込手数料:648円×4名=2,592円 ・茶菓代:200円×6名×1回=1,200円 (2) 大会開催費:505,000円 ・会場借料等:300,000円 ・備品レンタル代:65,000円 ・大会資料印刷費:80,000円 ・講師謝金等:50,000円 ・懇親会費自己負担(講師等):10,000円
3 意見交換会開催費	6,500	6,500	0	·茶菓代:130円×50名×1回=6500円
4 研修会等開催費	100,000	100,000	0	・後継者育成等開催経費(バス借上げ等)
5 情報提供·収集費	177,500	162,000	15,500	・印刷代:167,500円 いきいき通信:50,000円×3回=150,000円 事務局通信等:17,500円 ・資料収集等:10,000円
6 渉外費	13,000	13,000	0	・ネット活動PR、他ネット交流等 13,000円×1回=13,000円
7 賃金	96,000	96,000	0	・事務補助アルバイト 月1日×12ヵ月×8,000円=96,000円
8 事務諸費	413,000	213,000	200,000	- 旅費交通費:1,000円 - 通信運搬費:300,000円 - 消耗品費:10,000円 - 印刷製本費:40,000円 - 賃借料:60,000円 - 支払手数料:1,000円 - 雑費:1,000円
9 会費及び賛助金	0	0	0	
10 雑費	10,000	10,000	0	
11 予備費	20,000	20,000	0	
当期支出合計	1,897,472	1,689,064	208,408	(C)
当期収支差額	1,528	315,936	△ 314,408	(A) – (C)
次期繰越収支差額	1,844,695	1,751,611	93,084	(B) – (C)

Ⅲ. 第3号議案 令和元年度理事の改選

【令和元年度理事名簿】(案)

役員

区 分	氏 名	都道府県	畜 種
会 長	小林 陽子	三重県	養豚
副会長	柴田 誠子	秋田県	酪 農
	金谷 恭子	埼玉県	肉用牛
会計監事	嶋田 文代	埼玉県	採卵鶏
云削血争	木目澤 久實子	福島県	酪 農

理事 (※理事 20 名体制)

区分	氏 名	都道府県	畜 種
北海道・東北	柴田 誠子	秋田県	酪農
北海道·青森·岩手·宮城·秋田·山形·福島	采田 誠士	秋田宗	路 辰
	木目澤 久實子	福島県	酪 農
関東 茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京	月井千枝子	栃木県	酪農
神奈川·山梨·長野·静岡	金谷 恭子	埼玉県	肉用牛
	嶋田 文代	埼玉県	採卵鶏
	福田 弥生	神奈川県	酪農
	田中 真紀子	神奈川県	酪 農
	佐藤 弘子	長野県	養 豚
北 陸 新潟·富山·石川·福井	島田 玲子	新潟県	養豚
利海•畠山•石川•佃井	長井 節子	富山県	酪農
東 海 岐阜·愛知·三重	清水 ほづみ	愛知県	酪農
哎早·复加·二里	小林 陽子	三重県	養豚
近	池田 喜久子	滋賀県	酪農
中国・四国	砂流 裕美子	島根県	酪 農
愛媛•高知	藤井 美佐	岡山県	採卵鶏
	熊野 智子	愛媛県	採卵鶏
九州・沖縄	畠中 五恵子	福岡県	採卵鶏
福岡·佐賀·長崎·熊本·大分·宮崎·鹿児島 沖縄	中島 陽子	福岡県	養豚
	那須 眞理子	熊本県	肉用牛
	羽田野 由紀子	大分県	肉用牛

(参考)

【平成30年度理事名簿】

役員

区分	氏 名	都道府県	畜 種
会 長	小林 陽子	三重県	養豚
副会長	柴田 誠子	秋田県	酪 農
副云文	金谷 恭子	埼玉県	肉用牛
△≒↓除車	嶋田 文代	埼玉県	採卵鶏
会計監事	木目澤 久實子	福島県	酪 農

理事 (※理事 20 名体制)

区 分	氏 名	都道府県	畜 種
北海道・東北	柴田 誠子	秋田県	酪農
北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	木目澤 久實子	福島県	酪農
関東	月井千枝子	栃木県	酪農
茨城·栃木·群馬·埼玉·千葉·東京 神奈川·山梨·長野·静岡	金谷 恭子	埼玉県	肉用牛
	嶋田 文代	埼玉県	採卵鶏
	福田 弥生	神奈川県	酪 農
	田中 真紀子	神奈川県	酪 農
	佐藤 弘子	長野県	養豚
北 陸 新潟·富山·石川·福井	島田 玲子	新潟県	養 豚
利 / 向 · 苗 山 · 位 川 · 他	長井 節子	富山県	酪 農
東 海 岐阜・愛知・三重	清水 ほづみ	愛知県	酪 農
岐阜・変和・二里 	小林 陽子	三重県	養豚
近	池田 喜久子	滋賀県	酪 農
中国・四国 鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川	砂流 裕美子	島根県	酪 農
愛媛•高知	藤井 美佐	岡山県	採卵鶏
	熊野 智子	愛媛県	採卵鶏
九州・沖縄 福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島	畠中 五恵子	福岡県	採卵鶏
亩両•佐貝•長呵•熊本•人万•呂呵•鹿兄島 中縄	中島 陽子	福岡県	養豚
	那須 眞理子	熊本県	肉用牛
	羽田野 由紀子	大分県	肉用牛

(参考) 全国畜産縦断いきいきネットワーク会員名簿(平成31年4月1日現在)

No	都道府県	名前	酪農	肉用牛	養豚	採卵鶏	その他 支援機関
1	北海道	柳原 美智子		1			
2	岩手県	白戸 綾子					1
3	秋田県	柴田 誠子	1				
4	秋田県	柴田 瑞穂	1				
5	山形県	小松 由佳			1		
6	福島県	阿部 フミ子	1				
7	福島県	国馬 ヨウ子		1			
8	福島県	木目澤 久實子	1				
9	福島県	先﨑 幸江		1			
10	栃木県	今 克枝	1				
11	栃木県	前田 智恵子		1			
12	栃木県	月井 千枝子	1				
13	群馬県	石坂 恵美		1			
14	群馬県	岡田 光美		1			
15	埼玉県	大畠 眞由美			1		
16	埼玉県	嶋田 文代				1	
17	埼玉県	吉田 英子	1				
18	埼玉県	白石 光江			1		
19	埼玉県	塚田 あつ子		1			
20	埼玉県	谷口 知子		1			
21	埼玉県	金谷 恭子		1			
22	千葉県	池田 美香	1				
23	千葉県	伊藤 睦子	1				

No	都道府県		名前	酪農	肉用牛	養豚	採卵鶏	その他 支援機関
24	千葉県	須藤	陽子	1				
25	千葉県	川名	初江	1				
26	千葉県	柴し	づい			1		
27	千葉県	尾形	玲子					1
28	東京都	岡部	由美子					1
29	東京都	西銘	容子					1
30	神奈川県	石井	絵美子		1			
31	神奈川県	北見	満智子			1		
32	神奈川県	福田	弥生	1				
33	神奈川県	安田	和子				1	
34	神奈川県	三留	清美		1			
35	神奈川県	臼井	スミ子			1		
36	神奈川県	田中	真紀子	1				
37	新潟県	桑原	朋子		1			
38	新潟県	島田	玲子			1		
39	新潟県	宮野	智子	1				
40	富山県	金田	外美子	1				
41	富山県	長井	節子	1				
42	富山県	西井	純					1
43	長野県	佐藤	弘子			1		
44	長野県	峯村	このみ		1			
45	長野県	前田	祥子	1	1			
46	長野県	本郷	万里子				1	
47	長野県	小沢	和子	1				
48	岐阜県	肩野	淳子			1		

No	都道府県	名前	酪農	肉用牛	養豚	採卵鶏	その他 支援機関
49	静岡県	杉村 雅子		1			
50	愛知県	石川 あい子			1		
51	愛知県	清水 ほづみ	1				
52	三重県	窪田 悦子			1		
53	三重県	小林 陽子			1		
54	三重県	山下 恵美子				1	
55	三重県	松葉 里美			1		
56	三重県	竹内 友子		1			
57	三重県	萩 美智代		1			
58	三重県	門脇 美千代		1			
59	三重県	加藤 美子		1			
60	三重県	堀川 ゆかり					1
61	滋賀県	池田 喜久子	1				
62	兵庫県	山根 美智子	1				
63	奈良県	泉澤 ちゑ子			1		
64	奈良県	竹田 茂都美	1				
65	大阪府	吉田 妙子				1	
66	鳥取県	尾古 満子		1			
67	島根県	川村 千里		1			
68	島根県	砂流 裕美子	1				
69	岡山県	松下 久美子		1	1		
70	岡山県	藤井 美佐				1	
71	広島県	山延 眞智子	1				
72	山口県	藤井 朋子	1				

No	都道府県	名前	酪農	肉用牛	養豚	採卵鶏	その他 支援機関
73	山口県	小野 綾乃			1		251/21/21/21
74	徳島県	鎌田 京子		1			
75	愛媛県	熊野 智子				1	
76	愛媛県	松田 ゆかり			1		
77	愛媛県	酒井 美子			1		
78	福岡県	江口 準子		1			
79	福岡県	中島 陽子			1		
80	福岡県	畠中 五恵子				1	
81	福岡県	深町 照代			1		
82	佐賀県	中山 敬子		1			
83	熊本県	岩下 茂子		1			
84	熊本県	大薮 真裕美	1				
85	熊本県	大和 とよ子			1		
86	熊本県	那須 眞理子		1			
87	熊本県	前田 佳良子			1		
88	大分県	羽田野 由紀子		1			
89	大分県	山下 眞弓	1				
90	宮崎県	小守 敏子		1			
91	鹿児島県	最勝寺 秀子	1				
92	鹿児島県	西園 由美子			1		
93	鹿児島県	鳩野 トミ子	1				
94	沖縄県	真榮城 美保子		1			
		計	29	30	23	8	6